



センターまつり2010!!

笑顔あふれるセンターまつり♪天候にも恵まれ、楽しい1日となりました。



ファンファーレも高らかに祭り開始



オープニング de じゃんけんぽん!



熱心にやっとなねえ〜 活動展示



懐かしの和ディ!廿日市パ'ンチャーズ'演奏



職人技が冴えるそば打ち



美味しい料理に舌鼓



心を込めた手作りお菓子



世界の民族衣装・似合ってるう



これなんぼ?会話も弾むフリマ



どれがええ?フォト投票風景



威勢のよい掛け声!迫力の餅つき



昔遊び♪ナ・回ってる!

フォトコンテスト上位入賞作品

おめでとうございます!今後益々の活動を期待しています♪
ステキな「笑顔」をありがとうございました(´v`)/



2位 94票
青少年育成廿日市市民会議
「青少年育成市民大会」



3位 85票
青少年育成廿日市市民会議
「第22回中学女子はつがい駅伝」



4位 61票
青少年夢プラン実行委員会
「ヤングフェスタ終了後」



5位 60票
青少年育成廿日市市民会議
「青少年育成市民大会」

フォトコンテストの賞品提供: やまだ屋さま ありがとうございました!

****お問い合わせ先**** 廿日市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

****ネットワーク現在の状況****
(平成22年3月現在)
登録団体 **159** 団体

市民活動情報紙 - さくらdeファミリー

廿日市市民活動センター
平成22年春号
Vol. 11

運営協議会トピックス

4月から日曜日が開館日になり、月曜日が休館日となります。

2010年4月から日曜日が9時から17時まで開館します。それに伴い休館日が月曜日となります。
4月からは、市民運営のセンターとして日曜日の受付業務を運営協議会の構成団体が受け持つ事になりました。市民運営を目指すセンターとしての新たな試みですので、当初は多少不慣れな事もあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

輪転機が加わりました

3階のワーキングスペースに輪転機が加わりました。大量に印刷される場合、事前にセンター受付にご一報ください。

インク代 1枚 1円 マスター代 30円(1版)(マスターに使用する用紙代を含む)
用紙代 (A4) 1枚 1円
(A3) 1枚 2円

2010年3月14日(日)

大盛況の第4回センターまつり

今年のセンターまつりは、天気にも恵まれ予想を上回り来場者数約420人。手打ちそばの復活や廿日市ベンチャーズの演奏、紙芝居と琴演奏のコラボなど、話題豊富な内容も加わり、大盛況。
食バザーの売り切れ続出で昼食にご不自由をおかけしました。反省点とし今後に活かしたいと思います。

フォトコンテスト1位受賞は廿日市市国際交流協会

センターまつりの来場者による投票形式でフォトコンテストを行いました。
テーマを市民活動で得た、とっておきの「笑顔」として募集し来場者に投票のご協力をいただき総投票数793票でした。
P4に、詳細とその他入賞者の写真を掲載しています。



フォトコンテスト1位 (写真右)
得票数 109票 (総投票数793票)
廿日市市国際交流協会 撮影者 中村 悠久さん
「平和ツアーの留学生と世界の料理を作っているところ」



センターまつりの

御礼

センターまつり開催に伴い皆様にご協力を頂きありがとうございました。

今年の「センターまつり」は晴天に恵まれたせいか大勢の方々にあふれた活気ある活動センターになりました。

一年・二年色々と催しが増え、各団体が連携を取り充実したものになりました。成果はバツグンで、活動の発表又、交流の場となった事に感動しました。

反省点も多々あるかと思いますが、来年のセンターまつりも皆様に期待して頂ける様にならりますのでよろしくお願い致します。

センターまつり実行委員長
後藤 香代子



じごぜん花壇

地御前コミュニティ環境部会 部長 井上 良宅さん



2004年まちづくり委員会からスタートし、現在はコミュニティの環境部会として、23名の部員が町内の環境浄化、美化、防犯対策と幅広く活動しています。

牡蠣の育つ海を守るための山への

植樹、海岸の清掃、潮廻しの浄化、そしてじごぜん花壇の手入れなど、年間を通して作業をしています。

町内5ヶ所に花壇を作り季節の花を植え、水やりには花壇の近所の方々にもご協力をいただいています。

2月の小雨の降る中、住宅地の中にある公園の樹木の剪定をされていました。これは、近所の方から公園内で目に余る行為が行われているようだと言われ、見通しの明るい公園にしようと作業を行っているという事でした。地域をより暮らしやすくするため、迅速に対応できるようにと熱く語っておられました。



吉和すいせんロード

吉和地域景観協議会 事務局長 島津 賢吾さん

国道186号線を吉和地域に入るとすぐに吉和すいせんロードが始まります。吉和地区は道路沿いや各家庭の庭先など、いたるところできれいに咲いたスイセンを観ることができます。村おこしは「おしゃれ心」。ちょっと色気のある村づくりを目指し、昭和60年くらいから旧吉和村役場の職員でスイセンの植付けを始めました。住民からスイセンの球根を分けてもらい、頓原（魅惑の里付近）の国道沿いに植え始めました。それから、住民・団体に呼びかけ、老人クラブ（福寿会）を中心に活動が広がりました。その活動は吉和全域に広がっていきました。スイセンの活動をきっかけに、「村全体を公園にしよう」と計画が進み、「花いっぱい運動」をキ



ャッチフリーズに各地域の住民の手で花壇が作られました。モミジ、サザンカ、コスモス、サルビア、ヒマワリなど吉和地区はいつ訪れても、様々な花を楽しめるようになっています。



ネットワーク団体紹介

* しりあっc h a o *

四季折々に私たちの目を楽しませてくれる街角の花々は、お世話をしてくれている人たちがいるからこそ、きれいな花を咲かせることができます。

今回は「花」にスポットをあて、地域の中で花や樹木の手入れや美化活動を行っている団体を紹介します。

廿日市地域



大野地域



吉和地域



宮島地域



津田・四和ふれあいまちづくりの会

ふれあい文化部会 部会長 長門 秀文さん

佐伯地域北部に位置した四和地区の北部にある大虫地区には、昭和62年に天然記念物に指定された「枝垂れ桜」があります。

樹齢を重ねた幹は腐食による空洞があり、足場用の鉄パイプによる支えなしでは倒木の危険すらうかがえる状況でした。限られた時間の中で、私たちふれあい文化部会は、樹医の方のご指導を受けながら枝垂れ桜の延命・樹勢の回復に取り組んでいます。昨年12月に桜周辺の土壌改良、枯れ枝の処理、剪定、切り口の殺菌処理などの作業を行いました。今年の春には木材による支柱を施し、足場のパイプの除去をしました。また、将来を見据え、後継の苗木も植栽しています。



過疎化の進む大虫地区に昔の賑わいを取り戻すまでは無理としても、桜の咲くころに一人でも多くの人たちに大虫地区を訪ねていただき、和やかな笑顔の輪が広がる事を願っています。

佐伯地域



大野1区花いっぱい運動部会

花いっぱい運動部会 会長 寺西 秀夫さん

青葉台バス通りや宮島口駅前に置かれている花壇を目にした方も多いでしょう。四季折々に通行人の目を楽しませてくれています。

それは大野1区花いっぱい運動部の皆さんの手によるものです。2月中旬、青葉台集会所横の花ひろばで、藤棚の手入れや、ビニールハウス内では土作り、畑おこし、花の手入れを行っておられました。寒い中ですが、20名近くの方々が元気に作業をしておられました。作業終了後の茶話会での交流も活動の長続きの秘訣とか。その活動も平成2年ふるさと創生事業の一貫として誕生し満20年を迎えます。これまで平成7年広島県景観づくり大賞や平成9年全国「みどりの愛護」緑化推進運動で表彰されました。『夏場の水やりや草取りは大変ですが、地域の皆さんの喜びの声に支えられてがんばっています。花を通して人目も多くなり、防犯やゴミのポイ捨て防止にも一役買っています』とのこと。

50数名の部員のみなさんの益々盛んな活動が期待できます。



宮島さくら・もみじの会

さくら・もみじの会 会長 井上 軍さん

江戸時代後期、天保年間に刊行された「芸州厳島図会」には、厳島神社を始めとする名所、旧跡に満開の桜が数多く描かれています。しかし、現在の桜は老朽化、鹿の食害、台風の被害などで元気がありません。その桜の再生を目指し、会長の井上氏は先ずは一人で調査を開始しました。その後、同級生、環境省宮島地区パークボランティアの会、広島大学附属宮島自然植物実験所等の協力を得て、総勢70名で育成調査を行いました。調査の結果、74%の桜は何らかの処置が必要とのことでしたが、桜の管理所有者は県、市、厳島神社と様々で、行政には保存計画はありませんでした。しかも植樹には環境省や文化庁の許可が必要で

長期間かかります。紅葉も桜同様、あまり良くない状態とのこと。廿日市市への働きかけで市長への陳情、副市長の現地視察、そして県の協力の約束もいただきました。

今後も、このさくら・もみじの会が中心となり、行政、宮島の住民のみなさんと協力して調査、再生作業を行っていきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

